

久保木（くぼき） 宗一（そういち） 議員

二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

通勤通学のため高速バスの定期券実施を

Q. 香取市では若い人たちの仕事が少ない。地元に定住し東京で働ければ人口流出の抑制になり市の税収も増える。そのためには高速バスの定期券の実施が必要だ。通勤定期はひと月に2万円、通学定期は3万円の割安になる。若い人の定住化を進めるため、高速バスの定期券を検討してはどうか。

A. 若年層等の定住化対策として、香取市に住みながら、都内へ通勤、通学が可能となるよう、都市間交通の利便性向上を図ることは、重要であると考えています。しかし、定期券の導入には、バス事業者の収益への影響や、定期券の発行、販売方法など複数の課題が想定されることから、今後も、香取市の公共交通を担う事業者と継続的な意見交換を実施していきます。

意見 東京へ通勤、通学する人にとって定期券の導入は、経済的負担を大いに軽減することができる。そうすれば、働く場所が東京であっても、香取市に住み続けることができる。近隣自治体が実施していた交通事業者への補助制度も参考にして、定期券の導入を図り、定住化を推進していただきたい。

成田空港と香取市を結ぶ直通バスを

Q. 成田空港が拡大機能強化され、さらに外国人観光客の増加が見込まれる。現状は、1時間に1本の成田線で佐原に来ている。これでは大勢の外国人観光客を香取市に迎えるための公共交通機関としては不十分だ。成田空港と香取市を結ぶ直通のバス運行がもしスタートできれば、香取市が大きな恩恵を受けられる。直通バスをぜひ実施してはどうか。

A. 令和7年の成田国際空港の国際線を利用した外国人数は過去最高となっていることに加え、成田国際空港が、第2の開港とも言うべき取り組みが進められる中で、今後も成田国際空港を利用する外国人観光客が更に増加すると見込まれます。香取市ではこの機会を活かし、成田国際空港から香取市をつなぐ直通バスの運行を含め、補助金等の財源確保に努め、成田国際空港を利用する外国人観光客を香取市に誘客する施策を検討していきます。

意見 過去、実験的に成田空港と香取市の直通バスが運行されたが、乗客数が伸びずやめてしまった。関係者に意見を聞くと、今ならバスを運行すれば利用者が多く、経済的効果も大きいとのことなので、ぜひ直通バスの実現をしていただきたい。

狭い道路拡幅に市の補助金を

Q. 消防車も救急車も入れない狭い道路が多く、車がすれ違えない。災害時の避難にも大きな障害になる。狭い道路を拡幅し市民の安全を確保するために条例又は要綱を作り、補助制度を実施してはどうか。

A. 香取市としては、セットバックの後退用地が適切に管理できるように、用地の測量や分筆などに対する補助や用地の寄附といった助成制度を検討していきます。

意見 災害に対応するためにも、消防車や救急車が入れないというような状況をなくしていただきたい。そのために香取市でも早急に補助制度をつくっていただきたい。



井上（いのうえ） 徹（とおる） 議員

二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

香取おみがわ医療センター附属看護専門学校の現状は

Q. 閉校の方針が変更されたのであれば、いつ誰がどのような理由により決定したのか。

A. 閉校について法人の意見を尊重しつつも、看護師養成機関を何とか残せないかという考えにより、市長が香取おみがわ医療センター理事長と協議し決定しました。

Q. 閉校を曖昧にした時点で、継続し得る努力をしたのか。

A. 看護師養成機関を有する近隣自治体と学生の進学に関する意見交換や、県立小見川高等学校医療コースの充実に向けた要望を行っています。また、医療関係従事者育成のための修学金制度も継続して実施しています。

Q. いつまで学生募集等学校運営を継続する方針なのか。

A. さまざまな機関と相談していますが、明確な時期を申し上げられるところではありません。これまでの入学者数の推移や近隣の看護師養成機関の動向を把握し、さらには香取市の財政負担の状況等も考慮しながら判断していきます。

意見 その年によっても違うが、看護師を確保するのに1人に対し1千万、3千万使うというのは、現実的な香取市の財政状況としては負担が大きすぎる。費用対効果であったり、既に代替方法が修学金ということで進んでいることを考慮すれば、看護学校の継続は全くもって非効率だと考える。市長の独断とのことだが、全員協議会において、閉校の方針説明はあったのだが、継続となった説明はされていない。学校の状況を把握した上で説明もなく非効率に継続していることは問題である。

民生委員制度について

Q. 候補者要件について、新候補者は72歳未満までと聞いているが、その基準というのはどこが決めたのか。

A. 千葉県の「民生委員・児童委員選任に関する一般方針」で、「新任の民生委員・児童委員を選任する場合は、72歳未満の者の選出に努めるよう留意すること」とされています。

Q. 72歳以上であっても、適任と認められる場合、理由書を添えて県へ推薦することは可能なのか。

A. 72歳以上であっても、「社会奉仕の精神に富み、人格識見ともに高く、生活経験が豊富で、常識があり、社会福祉の活動に理解と熱意がある者」等の条件を備える場合は、理由書を添えて推薦することが可能です。

年度	定員	入学者数	充足率	教員数	香取市負担額	卒業生数	市内就職率
令和6年度	24人	15人	62.5%	8人	68,262,000円	15人	13.3%（2人／15人）
令和7年度	24人	8人	33.3%	7人	64,591,000円	15人	33.3%（5人／15人）
令和8年度	24人	10人	41.7%	8人	75,471,000円	—	—

香取おみがわ医療センター附属看護専門学校の入学者等の推移
（注：令和８年度の香取市負担額は予算額）